

KOCHI ROTARY CLUB

2019
2020



ロータリーは
世界をつなぐ
2019-20年度 RIテーマ

週報

SINCE 1937



Weekly report

第3410回
第3411回

2019年10月1日
2019年10月8日

2019年10月15日発行

● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。先月の21日、親睦委員会の行事で、老若男女40名を超す方々、さらに仕事先から駆けつけた高野会員も含めて、楽しいバス旅行を行いました。最初は四国電力の本川発電所で、非常に安全に気を配って作業していることが随所に見えました。また、社内では「ご安全に」というのがお互いの挨拶だと聞き、感銘を受けました。発電所はダム湖の脇のトンネルからバスで下ると、地下300メートル

のところに、巨大な空間が広がります。北朝鮮の金正恩さんが「穴の中に籠もっていれば大丈夫だ」と信じるのも無理はないと思いました。

続いて、アサヒビールの西条工場。環境に配慮したものづくりをされていると感じました。ここで、エビオスという薬がビールの酵母だということを知りました。「ビールを飲むならアサヒビール」、これが私の感想です。大原会員、中林会員、お世話になりありがとうございました。



■ 本日のプログラム [10月15日]

ゲストスピーチ

高知大学名誉教授 森 惟明 氏

「人生100年時代を見据え

如何にして健康寿命を伸ばすか」

会	長	安	光	保	二
副	会	中	村	裕	司
幹	事	中	澤	陽	一
副	幹	関		雅	文
会	報	川	崎	敦	子
責	任				

10月1日 例会

- **ロータリーソング** 「君が代」「四つのテスト」
「ハッピーバースディ」「おめでとう結婚記念日」



- **カーニバル00in高知について** 高知県庁文化振興課・三木敏生様より
カーニバル00in高知は安藤桃子さんを中心に、11月2日から4日まで開催されます。70名以上の豪華ゲストを迎え、高知市の中心商店街、オーテピア、追手前高校芸術ホール等々を会場として、各種のトーク、ワークショップ、シンポジウムなどが行われます。
本日は、このカーニバルの成功に向けて、少しでも協賛をお願いしたいと思い、お伺いしました。皆さまのご協力をよろしく願いいたします。



- 中村裕司会員に、米山梅吉記念館より寄付に対する感謝状が届いています。

● 会員スピーチ

フレスノ市民訪問団報告

佐竹 新市 会員



高知市は今、世界の四つの都市と、姉妹都市・友好都市を結んでいます。一番古いのがカリフォルニア州フレスノ市で、今年で55年になります。その他に、中国の安徽省の無湖市、北海道の北見市、インドネシアのスラバヤです。特にフレスノとは市民

レベルで、お互いに委員会を立ち上げて交流しています。

フレスノと姉妹都市を結んだのは、当時、地方都市と海外との姉妹都市締結が流行しており、どうせなら、行くことができるアメリカの太平洋側の同規模の中型都市がいいだろうと探していたところ、東京在住の元高知大学助教授でアメリカレーズン協会の駐日支配人だった水野さんと言う方が、「だったらフレスノがいいんじゃない」という簡単な発言で姉妹都市になったと聞いています。

当初は、氏原高知市長が会長となり、最初は何をするにも市議会の了解が要るといような難しい会で、なかなか市民が参加することはできなかったようですが、徐々に変わって、今は市民主導の形になっています。高知RCも、向こうの5230地区とは交換留学生を含めて、ずっと交流をしています。今年度も土佐女子高校の上田さんがフレスノに行き、ダイアナさんが高知に来ています。

フレスノはサンフランシスコとロサンゼルス真ん中よりちょっと上の内陸部で、人口は49万人、周りを含めた都市圏で108万人。高知ではフレスノと言いますが、むこうではフレズノと濁り、スペイン語のトネリコの木のことです。内陸の砂漠に近いので、とにかくカラカラの気分で、私たちは7月末にいきましたが、昼間は40度近くになります。ヨセミテ国

立公園の観光のベースになるところでもあります。農産物が豊富で、レーズンは全米の9割が収穫されます。また、ワインの3分の1がここで造られており、フレスノ州立大学にはアメリカで初めてのワイン醸造学部があり、大学初のワイナリーとしてワインを輸出しています。

今回の55周年市民親善訪問団は7月14日から21日まで、岡崎市長、市議会副議長、議員2人、委員会の皆さん、市民を含めて総勢31名で訪問しました。現地では、州都のサクラメントで高知県人会の皆さんと交流しました。この県人会の歴史は古く、1920年頃に始まり、現在も60名以上の会員が在籍しています。サクラメントは、高知からの移民1世の方が成功し、親戚等々を呼び寄せたりしたため、会員数が多いとのこと。現在の会員の方は、見た目は白人のようでも、ほとんどの方が土佐弁を喋ります。それも、昔の土佐弁が流通しているのが面白く思いました。

サクラメントは1850年前後のゴールドラッシュのとき、サンフランシスコからシェラネバダ山脈でみつかった金鉱を目指して、たくさんの方が上ってきて栄えた町です。その当時の町を再現したオールドタウンや、アメリカでも最大規模の鉄道博物館などがあります。また、カリフォルニア州立議事堂の見学もしました。

サクラメントからバスで3時間ほど移動してフレスノに到着。その夜は、フレスノ姉妹都市委員会の歓迎を受け、翌日はフレスノの市庁舎、フレスノグリズリーズの球場、親善ガーデン、地下庭園、ワイナリーなどを見学。また、元会長さん宅の庭でバーベキューというのが恒例になっており、今回もお伺いしました。

そして、メインの55周年記念式典をフレスノ市内で行い、フレスノ市議会議長、姉妹都市委員会、長期交換学生生のダイアナさんご家族、さらにサンフランシスコ日本領事館からも出席していただきました。式典の終わりには全員でよき



こいを踊り、地元の方も一緒に楽しい式典になりました。

その後、ロサンゼルスに移動。アナハイムでメジャーリーグのエンジェルスを試合を観戦しました。相手は全39団の内、一番勝率の高いヒューストンアストローズ。大谷は、スタメンには入っていませんでしたが、最後に代打で出てきました。

最後は、南カリフォルニア県人会の皆さんとの交流会を経て、帰路につきました。

同行した31名の中には初めてアメリカに行く方、何度も行っている方、いろんな方がいて、一緒に楽しい8日間を過ごしました。来年は、フレズノから高知に訪問団が来る予定で、高知を挙げて歓待しようと話しています。また、長期交換事業をはじめとして、ロータリークラブの関係も今後もずっと続いていくと思います。

姉妹都市委員会の年会費はわずか2,000円です。興味のある方は、ぜひ一緒に盛り上げていただけたらと思います。

● 幹事報告

- ・白洋の駐車場の2階に止めている方が多いようですが、三翠園との契約は3階です。なお、2階に止めた場合は、料金発生可能性がありますので、ご注意ください。
- ・10月のロータリーレートは1ドル108円です。
- ・本日から赤い羽根共同募金が始まりました。クラブとしての寄付はしていませんので、個々にご協力ください。
- ・本日例会終了後、理事会を行います。
- ・来週は、創立夜間例会です。

😊 ニコニコ箱 【10月1日】

- | | | |
|-------|---|---|
| 安光 保二 | } | 9月21日開催の高知RC親睦交流バスツアーでは、四国電力の大原会員、アサヒビールの中林会員をはじめ、親睦委員会の皆さまに大変お世話になりましたのでニコニコします。 |
| 中澤 陽一 | | |
| 北澤 和彦 | | |
| 川崎 敦子 | | 9月21日に長女・比紗子が結婚式を挙げました。新居を神戸に構え二人で助け合って温かな家庭を築くことと思っております。主人もどこかで見守っていると思います。高知に戻ってこないのが少し残念ですが、二人の幸せを祈ってニコニコします。 |
| 藤田 洋子 | | お手配をいただいて、出来会員のグッドチョイスの観葉植物をお誕生日にいただきました。ありがとうございました。 |
| 川添 博 | | 誕生日をお祝いいただきありがとうございます。なかなか数が増えてまいりました。 |
| 森木潤一郎 | | お誕生日を祝っていただきありがとうございます。 |
| 高橋 淳二 | | 結婚記念日を祝っていただき誠にありがとうございました。完全に忘れていました。帰ったら即母に言いつけようと思います。(明子) |
| 南 範子 | | 結婚記念日を祝っていただきありがとうございます。すっかり忘れていました。唯一、ロータリーで祝っていただくことで、夫婦であることを認識いたします。 |
| 古谷 純代 | | 結婚記念日を祝っていただきありがとうございます。昨年までは覚えていたのに、今年はすっかり忘れていました。健康と小さな幸せに感謝です。 |
| 川崎 卓巳 | | 結婚記念日をお祝いいただきありがとうございます。数え間違いでなかったら、26回目だと思います。信じるか信じないかは別にして、初婚のままです。 |
| 千代 達洋 | | 結婚記念日をお祝いいただきありがとうございます。「31年間、よく我慢した」と言われていると思います。 |
| 奥野 聡雄 | | 結婚記念日をお祝いいただきありがとうございます。初めての単身赴任を楽しむつもりでしたが、妻は高知をとてども気に入ったらしく、既に3回来高知しています。少し予想外でしたが、2人で高知を楽しみたいと思います。 |
| 山神 克己 | | 結婚記念日のお祝いありがとうございます。娘の誕生日と同じ日なのでいつも忘れてしまうのですが、今年は思い出しました。これから企画を考えます。 |

10月8日 創立82周年記念夜間例会

● ロータリーソング「奉仕の理想」「手に手つないで」



● お客様

- ・ご家族
- ・燦燦奨学生

なかざわ きこ 中澤佐紀子様、もりもと みなこ 森本美奈子様、やすみつ きほこ 安光紀保子様
 かわさき もか 河崎桃花さん（高知県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科4回生）
 かけみず こさと 掛水胡里さん（高知工科大学 経済マネジメント学群3回生）
 しみず かれん 清水楓恋さん（高知大学 人文社会科学部2回生）
 やまもと こうたろう 山本航太郎さん（高知工科大学 環境理工学群2回生）



- ・長期交換学生 ダイアナ・ヘルナンデスさん

● 会長挨拶

皆さん、こんばんは。ロータリーソングが「奉仕の理想」で良かったです。今日の話の中で実はこの歌の話をしたかったもので、最初から出ると非常にラッキーという感じでありました。

ご承知のように、我がロータリークラブができたのが1937年10月2日、82年と6日以前のことでございます。設立当時の会員は24名、初代の会長が入交太蔵さん、それから幹事が松山秀美さんということでございます。その時から我がクラブは現在に至るまで、この「奉仕の理想」の中に歌われたような「御国に捧げん我等の業」、一生懸命働いて社会と国のために尽くそうということと、それから希望するのは「久遠の平和」、そういったことを心の中に置いて我がクラブはやってきたというふうに思っております。



今年になりまして、R Iの方から一つの提案というかアドバイスというか、そういったものがございました。それは、先進国はこれから人口がどんどんどんどん減っていくと。その人口の減っていく社会の中で、ロータリークラブはどうあったらいいのか、どういうふうに考えたらいいのか、5年先10年先を頭の中に置いて、クラブの中で考えてみてはどうかというアドバイスがありました。ご承知のように、高知県は人口減少を続けております。1960年が高知県の人口が一番多くて85万人を超えていたと思います。今年は70万人を割りました。2045年には50万人を割るといのが県の人口統計であります。「量的変化が質的变化を呼ぶ」、これは社会経済学の一つの基本的な考え方ですが、多分50万人を切るような時代になった時に我が高知クラブはどうあるべきか、ということを考えてらどうかというのがR Iのアドバイスであります。

大きくいろんなことが変わっていくと思います。だけど、二つ目のロータリーソングであります、ご承知のように「四つのテスト」というのがあります。「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めたか」「みんなのためになるかどうか」、こういったことを我がクラブのメンバーは、皆さんきちっと腹の中にたたみ込んで、来るべき5年とか10年とか、そういったものを考えていかなければならないなというふうに思っております。

これが創立記念日に対しての私の感じたことであります。以上です。

● 新入会員紹介

- ・日和崎 守氏挨拶

ただいま西山先輩からご紹介をいただきました、株式会社ヒワサキで勤めております日和崎守と申します。何分若輩者でございますし、右も左もこの会のこと分かりませんので、諸先輩方にいろいろお教を乞いながら邁進してまいりたいと思っておりますので、どうぞ皆さまよろしくお願いたします。





● パストガバナースピーチ

関 裕司 パストガバナー

皆さん、こんばんは。今日卓話をしろという話は2週間ぐらい前に会長から承って、それなりに準備をしてきたつもりですが、今日入ったら座席引けということで、ああその他大勢でどこへ座ってもええんだなと、これは卓話ないに違いないと思ってましたら、前に卓話・関裕司と書いてあるんですね。来た時にああやらなくてもいいなと思ったので、せっかく今日勉強してきたことをもう忘れてしまっていて、なおかつ今安光さんが大変格調の高いご挨拶をされましたので、私は出る幕ないなという気持ちになっています。



私は最近例会に来る時に、いつもこのカバンを持っています。何が入ってるかという、一つはこの計画書、ロータリーの目的から始まって、RI会長の挨拶、ガバナーの挨拶、組織図、会員の名簿、クラブの概況とかが入っています。時々見てると、昔のことを思い出して懐かしいなと思います。

私は76歳になりましたので、このロータリー今90人いますけど、年齢でいうとちょうど上から10番目になります。古さでいうと、実は5番目になります。ちょうど40年経ちました。76歳のうちの40年ですから、半分以上ロータリーにいるという結果になっています。その頃のことを思い出すと、私、大学を卒業してから大阪で電機メーカーに入って仕事をして、昭和63年(1978)の暮れに、うちの親父が自分の仕事の跡を継げと言って高度紙に引っ張られて、79年の初めから高知へ帰ってきて高度紙に入って、それで仕事を高知で始めました。その時、うちの親父は会長だったんですけども、ニッポン高度紙の社長は岡田さんという方で、その方は西クラブのメンバーでした。この岡田さんという方は非常に勉強熱心な方で、本ももちろん読みますけどもいろんな講習会にどんどん出かけるのが好きで、おまえも付いてこいということで研修会にいっぱい引っ張り出されて行ってたわけです。四国生産性本部の研修会に出た時、私はJCのメンバーじゃなかったんですけど、JCのメンバーが何人かその研修会の中に入れて、君もJCに入らんかと言われて、そのことを岡田社長に相談したら、「そんなもんやめとけ、JCなんか入るな、わしがえいとこへ紹介しちゃう」と言われたのがロータリークラブでした。

岡田さんは高知西クラブの会員ですけども、「わしが紹介しちゃう」ということで、当クラブのメンバーで最近ほとんど出てきてませんが、久松朋水会員の親父さんの潤一郎さんに私の紹介者ということになっていただいて、79年の8月1日に高知ロータリークラブに入会をさせていただいたわけなんです。久松さんに「伝統と格式ある高知ロータリークラブに入会させていただいて大変光栄ですと、この挨拶でちゃんと見え」と言われて、私はそういう挨拶をしました。私も最近何人かの方を入会紹介してますけども、さすがに今伝統と格式のことは申し上げませんが、私の時は「おまえは必ず挨拶の中でそれを入れて見え」と言われて入りました。

確かに高知ロータリーは伝統と格式、高知県では一番古

いわけですけども、皆さんもご承知かと、もう一回確認のために言いますと、四国には74クラブあります。香川県に18クラブ、8月末現在で842名ロータリアンがいます。徳島には21クラブ、848名。愛媛県は20クラブ、751名。高知県が15クラブで616名。全部で74クラブで3,057名となっています。高知県はどうしても人口規模減ってますので人数少ないですけど、これ見てると思うのは、愛媛県が意外と少ないですよ。愛媛県は他の県に比べると、全体の人口でも極端に言うとも倍近く150万人ぐらいいますけども、それでもロータリアンの数から言うと751名でものすごく少ないです、各クラブの人数を見ても実は愛媛は非常に少ないです。私は何かの時に愛媛の過去ガバナーに会うと、半分冷やかし、半分本気ですけども、ちょっと軽蔑風にそのことを言いますけどね。

今日一つ申し上げておかないといけないのは、2019年の規定審議会で、さっきちょっと言いかけたように3年ごとに規定が審議されますので、新しい規定審議会で決まった内容をまとめたものが皆さんのテーブルに置いてありますけども、大事なところを一つ言うと、例えば例会を欠席した時にメイクアップをどうするかというのが、今までは前後2週間の間にどこかでメイクアップしなさいということになってますけども、これが年度内ならいいということになってます。年度内、だけど、わからなくなりますよ、これいつの出席なのか。だけど、そういうことになってます。それから、ロータリーはいわゆる職業人の会だということになってますけども、その職業人という縛りが消えるんです。要するに極端にいうと、大人なら誰でもいいという感じになってます。そこが大きく変わるところです。

私は、その1年間でいつでもいいというのは、何かちょっと嫌だなというふうに思います。それで思い出したのは、私は40年と言いましたが、入ったのが8月1日ですので、その年は100%になってません。ですから、39年はほんとに出席100%と言いたいところですけども、実は38年なんです。なぜかという、1回欠席したんです。さっきも言いましたように、前後2週間にメイクアップすればいいということになってます。私は会社で勤務してる時は、県内にお客さんおりませんので、お客さんとこへ行くというのはもう必ず県外へ行くわけなんです。しかも東北とか北陸とか長野県とか、ああいう不便なとこばかりお客さんがいるんです。出張するのは大体週の中で行きますので、火曜日はなんだかんだと予定が引かかるわけなんです。社長が西クラブですから、岡田さんの都合に合わせてやると、金曜日には帰ってくるけど火・水・木は出張するみたいな感じになるんです。そうすると金曜日に西クラブにはメイクアップへ行くんですけども、なかなか日程が合わない時がある。今でこそ余り風邪ひかなくなりましたが、私は子どもの時から風邪ひきで、毎年必ず風邪ひく。風邪ひいたら熱が出る、どうしても休むというのがずっと続いてまして、出張して最後、次の週の月曜日にメイクアップへ行けばいいわけですけども、その週末から風邪ひいて39度ぐらい熱が出たんです。これはいかんと、会社も休みました。そしたら、薬飲んだので昼頃になると37度切るぐらいに熱が下がったんです。これは北クラブ行けるな。だけど、待てよと。なんば言うても会社休んでロータリーへ行くというのは、それでいいのかと自分で思ったんです。やっ

ぱりやめとこうと。会社休んでロータリーへ行くのはまずいということで、とうとう休んでしまいました。ちょうどその時は、高知市内では南クラブと東クラブはずっと100%を続けてたんですけど、うちのクラブは大体いつも出席率悪くて、70%、80%とかそんなのばかりだったんです。ところが、今ずっと休んでますけども、土佐塾の福島さんが出席委員の時に100%にするという目標を立てまして、それを始めたんです。それで、欠席すると「あなた欠席してます、何日までにメイクアップしてください」というはがきが来るんです。みんななかなか休めなくなって、1年半ぐらい100%が続いたんです。それはもう画期的なことでした。その100%を破ったのが私なんです。だけど、実は古い会員の人は「わしはよう休まんかったけど、おまえようやってくれた」と、変な感謝のされ方をしたこともあります。100%なんてそんなもんですから、だから大したことじゃないんですよ。私はあくまでもやっぱり仕事の方が大事であって、ロータリーは二の次だというふうに思っています。

ですが、一方で、やっぱり何かの組織に加わったら、それなりに何らかの貢献をしなきゃいけないだろうというふうに思ってるわけです。つまり、例えばこの前に座るようなそういう仕事を任せられるとか、そういうことでなければ余り意味がないんじゃないかというふうにも思ってるわけです。だから、言われたらそれなりに仕事をする。自分から手を挙げて何かをやるということには余りしませんけども、言われたらある意味しゃあないなということで仕事を引き受けるということやってきたということです。

それからこの計画書によると、先ほど言いましたように79年の8月1日ですから、79-80年度に入会と。その時の会長は旭食品の竹内寿明さんで、幹事が吉澤明さん、去年辞められた文治郎君の親父さんということです。普通入会すると大体すぐ「おまえは親睦委員会へ行け」と。これはいわゆる会員同士の顔つなぎということが一番大事やから、親睦委員会へ行けというのが普通です。ところが、私は親睦委員会はこの40年のうちで1、2回、名前だけ入ったことがあると思いますけども、親睦委員会ってほとんどまじめにやったことがないんです。なぜかと言うと、79年に入った時、高知ロータリーはたまたまGSEと言いまして、外国からいわゆる学生ではない、大人のロータリアンでもない、そういう人の研修を出したり受けたりする、そういう制度があるんです。GSEというのはGroup Study Exchangeといいまして、社会人の研修生を受け入れたり派遣したりする。そのGSEをたまたま高知ロータリーが受けてまして、「おまえは英語ができるから、ちょっとその世話せえ」という名目で、親睦委員会に入らないで国際奉仕委員会ということで入りました。

6年経った85-86年に、会長は山内神社の山内豊和さんの時に幹事をやりました。それから入会してから17~18年目ですかね、2001-2002年に会長をやれと、それから2013-2014年にガバナーをやれということになったわけです。

会長になった時に、当然幹事が要りますので幹事を誰にするかという時に、今もう病気で亡くなりましたけども、こちらの川崎敦子会員の旦那の康正君、彼は私の家内の弟でして、その当時会員でした。彼は余りまじめにやっておらんので、「おまえ、ちょっと鍛えちゃらんかん」ということで、川崎康正を幹事に選んでやりました。その時に、彼に覚悟を

決めさせないかんので、檄文を書いて彼に出したわけです。今ここにコピーを持ってきました。2001年5月9日ということで約20年前に出しました。

「前略 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、我々が責任を持ってクラブ運営しなければならない年度が近づいてまいりました。ロータリーの運営といっても、それほど難しいものではなく、基本的には常識の範囲内で十分にこなせるものですので、問題はないと楽観視しています。とは言え、課題は幾つかあります。一つ、7月の新年度までに計画書を完成させること。2番、そのためには今から、今からというのは地区協議会以降、各委員会委員長を督励し、計画書を作成させること。各委員長との意思疎通を欠かさぬことが不可欠。ところが、最近の貴君の例会出席状況を見ると、次期幹事たるべき自覚と覚悟にいきさか欠けるところがあるのではないかと危惧せざるを得ない。会社の仕事は何よりも大切であることは百も承知しているが、そういう問題ではなく、仕事の進め方について感ずるところがあるので、一言申し上げる。

1番、ロータリーは仕事の片手間でやればよい。ロータリーの世話役である幹事は、ロータリーに入った以上、頼まれればやるべきである。やらないぐらいだったら、最初から入るべきではない。また、幹事の口がかからないようでは、会員から信頼されていないことになる。「会長は断つてもよいが、幹事はやるべきである」というのが私の持論である。2番、幹事をやる以上、会社の仕事のやりくりをしなければならぬ。つまり、ただいま現在から社内全員に対し、火曜日の昼12時から2時までは仕事を入れないよう命令する。その間の仕事は別の時間に必ずやり遂げるので、迷惑はかけない旨徹底する。それでも大事な仕事が入る場合もある。その場合はそちらを優先すればよい。7月からちゃんとやるというのではなく、今からやっておかなければ7月からちゃんとできるはずがない。3番、その他に毎月1回、市内6クラブ合同の会長・幹事会がある、毎月第1月曜の夜、それと9月4日の炉辺会がある。これらは嫌でも参加しなければならない。差し当たって、次週5月15日の新旧委員会合同のクラブ協議会には絶対出席すること。以上申し伝えます。草々」ということで、彼にそういう手紙を書いて、会長を受けたということでもあります。

私は、ここにも書いてるように、ロータリーよりも当然会社の仕事の方が大事だということですけども、だからといって欠席してもいいとは言ってません。先ほど言いましたように、私は40年のうち38年は皆勤賞を取ってるということはそれなりにやりくりしてやっていますので、転勤族の方、宮仕えですとか思うように日程の調整がいかないということであろうとは思いますが、それを逃げ口上にはしないでほしいと、逃げ口上にすべきでないというふうに私は思います。十分やりくりして100%できると。高知ロータリーへ出るのが嫌やというなら別ですけども、せっかく入った以上は、この90人やっぱり仲良く、楽しく過ごす、そういう転勤族の方ですと、仮に2年なり3年を充実した転勤生活にぜひしてもらいたいなということを思っています。

ちょっとロータリーの話と言ってええのか分かりませんが、格調の高い話は会長の最初のご挨拶ということで、私は格調低くスピーチをさせていただきました。今日はいいお酒をあと飲みたいと思います。ありがとうございました。



◇ 例 会 変 更 ◇

高知中央RC	10月 3日	ロータリー休日(城)	高知RC	10月 8日	夜間例会(三)
高知東RC	10月 9日	夜間例会(阪)	高知西RC	10月11日	ロータリー休日(三)
高知中央RC	10月17日	ロータリー休日(城)	高知中央RC	10月24日	職場例会(城)
高知西RC	11月 1日	4RC合同夜間例会(三)	高知ロイヤルRC	11月 5日→1日4RC夜間例会に振替(旭)	
高知北RC	11月11日→9日	夜間例会に振替(三)	高知東RC	11月13日	ロータリー休日(阪)
高知南RC	11月14日	ロータリー休日(阪)	高知RC	11月19日	ロータリー休日(三)
高知ロイヤルRC	11月19日→21日	3RC夜間例会に振替(旭)	高知南RC	11月21日	地区大会に振替(阪)
高知中央RC	11月21日	ロータリー休日(城)	高知西RC	11月22日	ロータリー休日(三)
高知北RC	11月25日	地区大会に振替(三)			

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

◎ 野村 茂ガバナー補佐 四万十RC訪問

10月8日(火) 野村 茂ガバナー補佐の四万十RC訪問に関雅文会員と私、中村が随行いたしました。
 16名の小さなクラブですが「早朝の交通安全の街頭指導」、「四万十川の清掃」や「海ガメの産卵場の清掃」など積極的に活動されているクラブです。
 野村ガバナー補佐は卓話の時間をフルに使って熱弁をふるい、例会後のクラブ協議会にも参加しました。



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
10月 1日	(-5)90	66	14	5	83%
9月17日	(-7)90	54	6	23	93%
サインメイキャップを除くメイキャップ				0	65%

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
10月 8日	(-8)91	56	16	11	81%
9月24日	ロータリー休日				

● 累計額 [10月8日現在]

ニコニコ箱	285,000円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	87,332円	ポリオ募金	135,100円
-------	----------	--------------------------------	---------	-------	----------

■ 次週のプログラム [10月22日]

ロータリー休日

◆ 10月29日のプログラム ゲストスピーチ
 講談師 キャロル・アン・ローズ氏
 (芸名・旭堂・南春)
 「坂本龍馬と土佐藩郷士の切腹」

創 立 昭和12年10月
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
 TEL(824)8660 FAX(824)2529
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>